



[男女共同参画社会の実現をめざす情報誌]

OKAYAMA

2006.9

vol. 31

特集

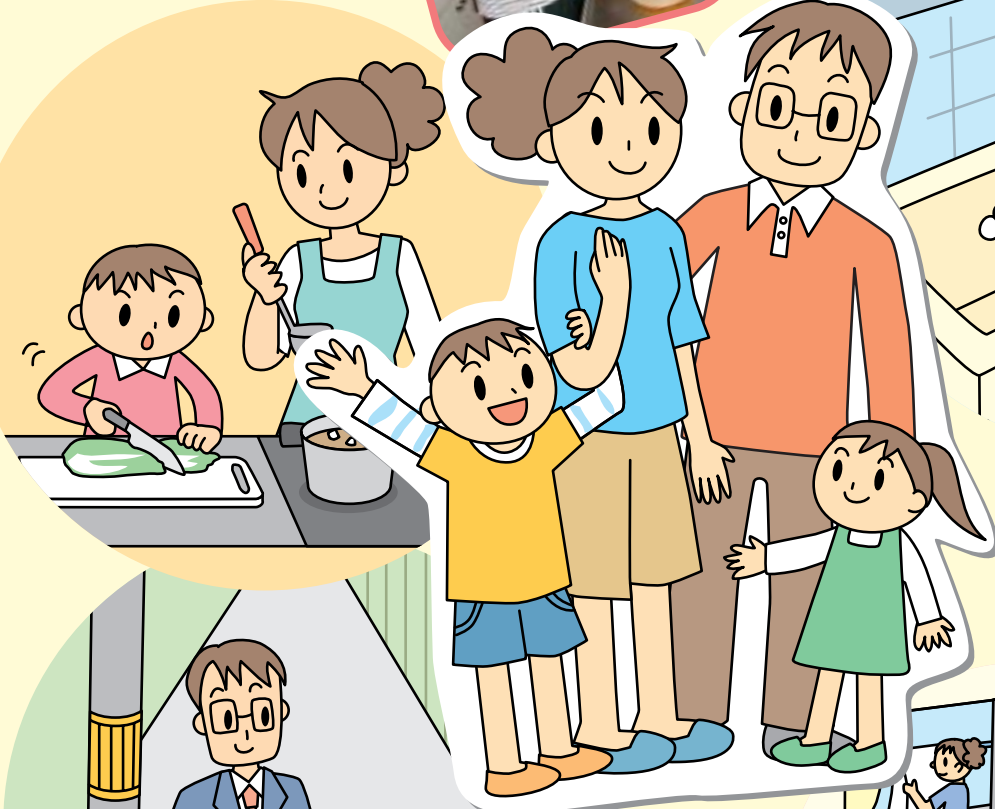
仲良し家族の 楽しい家事

~ 誰にも得意なことがある! ~

さんかくウィーク 2006

DUO

[デュオ]



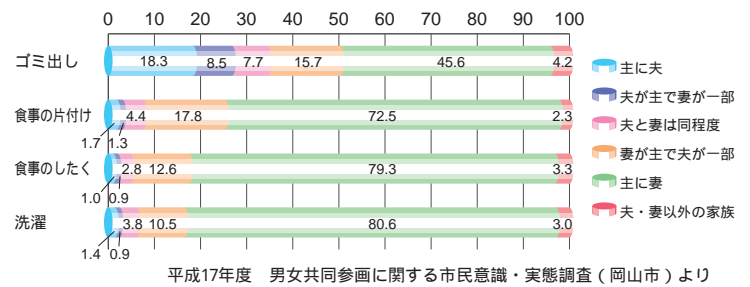
岡山市

仲良し家族の楽しい家事

～ 誰にも得意なことがある! ～

男女がともに仕事と家庭を両立することが望ましいと考える人は増えています。しかし、実際には、家事の大半を女性が担っている状況です。そこで今号では家事分担にスポットをあててみました。一口に家事分担といっても、その形はさまざま。家族みんなで家事をもっと楽しむことはできないか、と編集委員一同で考えてみました。あなたも一緒に考えてみませんか？

家庭における家事分担



まずはできることから ～ ゴミ出し編 ～

家事の中でも、比較的夫がしている割合が高いのがゴミ出し。家族の誰にでも簡単にできる家事のひとつではないでしょうか。編集委員の大矢野総子さんの夫に聞いてみました。

Q. ゴミ出しをはじめたきっかけは何かあるのですか？

A. きっかけというわけではありませんが、結婚直後は夫婦共働きだったので、ゴミ出しは私の役割という感じで...(笑)ただ、役割とはいっても、我が家ではゴミ出しの前夜に「ゴミ持ってきて」と子どもたちに声をかけて、各部屋のゴミ箱を持ってきてもらっていますので、あと私がするのは、出しに行くだけという感じです。私が行けない日は子どもが行っています。

Q. ゴミ出しをすることに抵抗はありましたか？

A. 結婚する前から時々ゴミ出しはしていましたので、特に抵抗はなかったです。通勤途中に寄るだけなので苦になりませんし。



Q. ゴミ出しをしていて感じたことは？

A. 通勤途中の男性や、通学途中の子どもが意外とたくさんいることに驚きました。

Q. ゴミ出しをして良かったなと思うことはありますか？

A. 近所の人とコミュニケーションできて、結構楽しいです。うちの子どもが昨日何してたとか色々教えてもらえるので、それが我が家の夕食時の会話のネタになったりします。「いい旦那さんねえ」などと言われることもあって、少し照れますが悪い気はしません。

Q. 楽しみながらできるのは「役割だから仕方なく」するのとは違って、とてもいいですね。

A. そうですね。すっかり習慣になっていて、妻が仕事を辞めた後も続けています。やっぱり楽しみを見つけると長続きするものですね。

旭東中学校
1年
大矢野種久さん
(二男)

面倒くさい時もあるけど、お母さんが「助かるわー」と言ってくると、僕も家族の役に立ってるんだなあと思います。



子どもたちも頑張っています!

旭東中学校
1年
青江麻衣子さん

近所の人たちに「えらいねえ」とか言われると、とても嬉しいです。うちのお手伝いが少しでもできるよう、これからも続けていきたいです。

上手に手分け ~ 食事の片付け編 ~

続いては、とある家庭の夕食後の様子です。食事の片付けとなると、ゴミ出しに比べて夫が担っている割合はぐっと下がります。食事の片付けは誰の役割、と決めるのではなく、こんな風に手分けしてもいいですね。



チャレンジしてみよう ~ 食事の支度編 ~

難しいからと敬遠しがちな料理。編集委員の前田洋子さんの夫は、休みの日には夕食の支度をする事が多いとのこと。手巻きずしや焼肉など、調理に手間をかけなくても、家族みんなで楽しめるメニューを中心に作るそうです。料理は敷居が高いと感じている人たちも、こんな風に楽しんで作ってみては？

Q. もともと料理はするほうだったのですか？

A. いいえ。以前は休日の“おでかけ”のひとつとして、妻や子どもたちと一緒に食材の買い出しに出かけて、自分が食べたい食材を選んだりする程度でした。単身赴任中も自炊はしていませんでした。

Q. 始めたきっかけは？

A. 手巻きずしのときに作る妻の卵焼きがいつも焼け過ぎていて、子どもたちと一緒に「おいしくない」と言い続けていたら、「じゃあ、自分で作れば」と反撃され、「それじゃあ、こげていない卵焼きを作ってやる」と思ったからです(笑)。

Q. 作ってみて、どうでしたか？

A. 味付けは妻にアドバイスしてもらいましたが、火加減に注意して焼いたのでふんわりとした卵焼きができ、子どもたちにも「パパのほうおいしい」と褒めてもらえました。

Q. 休日に料理をするようになって、よかったことはありますか？

A. 子どもたちとの話題が広がりました。自分が実際に料理をしてみて、味付けや調理法で、上手くいったことや失敗したことを具体的に話してやれるようになったので、子どもたち自身も料理に対して興味がわくようです。家族に「おいしい」と言ってもらえるのは、やはりうれしいです。

Q. これから、料理に挑戦しようと思っている人へアドバイスを

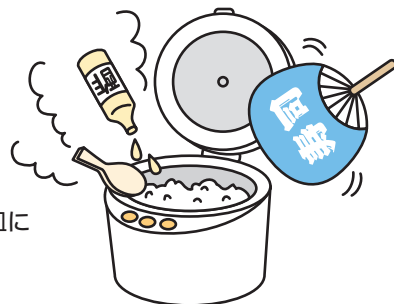
A. 料理は苦手という人でも野外でのバーベキューや鉄板焼きなどを手伝ったことがあると思います。いきなり一人で全部調理するのではなく、みんなで料理する過程を楽しむようなものから始めると失敗が少ないのではないのでしょうか。



前田家の 手巻き寿司

材料(4人分) 米(3合)
市販の合わせ酢(大さじ6)
焼き海苔(適量)
好みの具材

1 炊き上がった釜の中へ、直接合わせ酢を入れて混ぜ合わせ、大皿に移す時にうちわで仰ぎさます。... すしおけいらずで簡単・お手軽



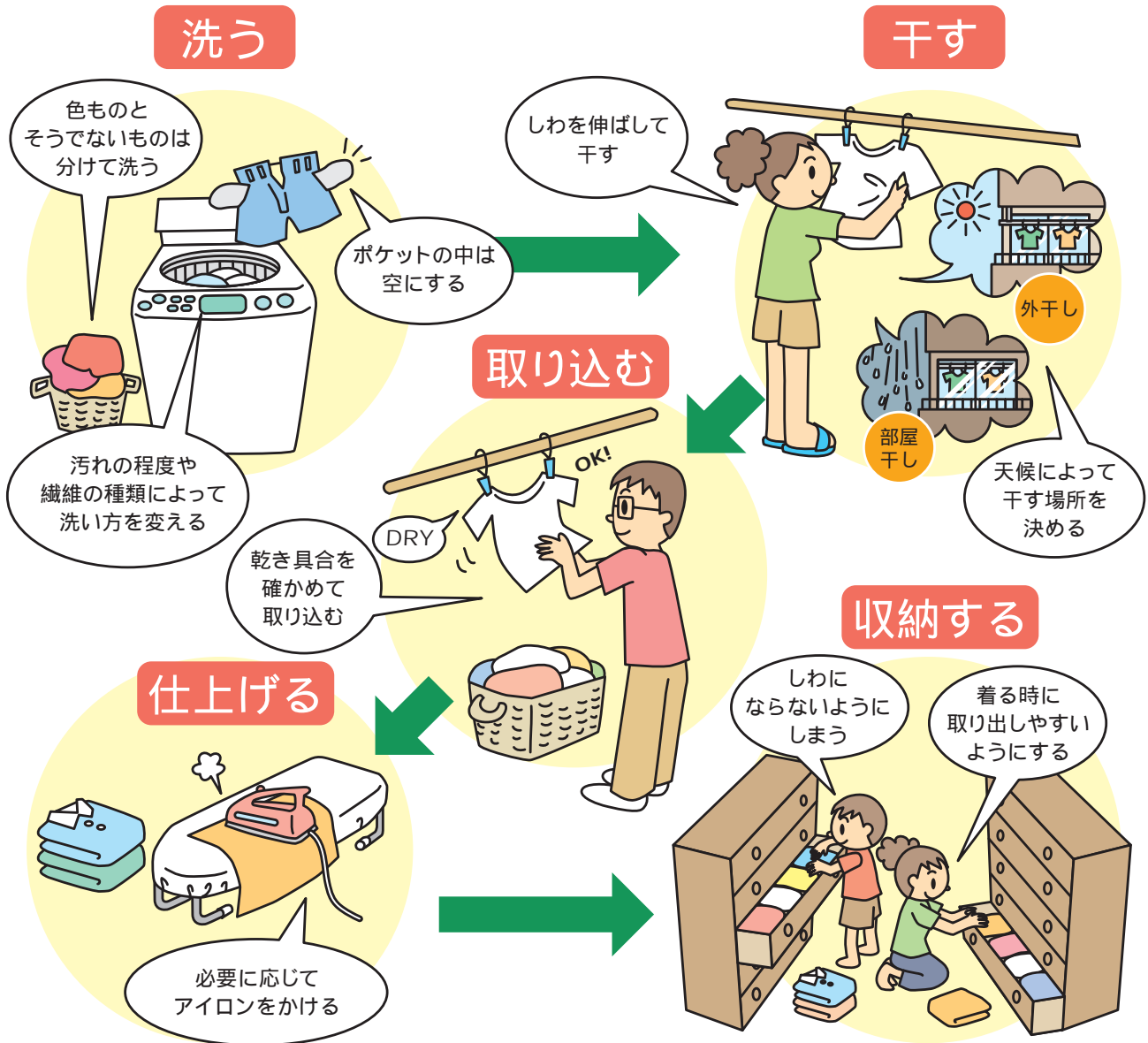
2 中に巻く具材は、市販の手巻き寿司用の刺身盛り合わせや、ツナ、きゅうり、貝割菜、レタス、ハム、エビフライなど、各自が食べたいものを揃える。
... おでかけ気分で買い物も楽しんで

3 焼き海苔の上に酢飯を適量広げ、具材を置き、巻く。... いろんな組み合わせを試しながら会話もはずむ



どんな風に分担できるかな？ ~洗濯編~

下のイラストは洗濯の大まかな手順です。あなたの家庭ではどんな風に分担できるか、家族みんなで考えてみてください。



男女がどちらも家事をこなせるということは、生活の自立という意味も含めて、とても素晴らしいことだと思います。しかし、すべてのことを男女で半分にわけてしなければならないという風に考えてしまうと、家事を楽しむことは難しいでしょう。家族構成や勤務状況、個人の得意不得意などの事情を考え、話し合い、試行錯誤しながら自分たちに一番合う分担の仕方を見つけることが、家事を楽しむ秘訣ではないでしょうか？目指すは、家族みんながお互いを思いやり協力しあう「さんかく家庭」。あなたも、もう一度見直してみてもいいかな？

さんかくウィーク 2006

～ 岡山市男女共同参画推進週間～
性別にかかわらず、多様な生き方を認め合える“あたたかいまち”

さんかくウィーク 6月21日～6月27日
(プレウィーク 6月14日～6月20日)
(フォローウィーク 6月28日～7月4日)

今年のウィークは
新しい試みにもたくさん
チャレンジしました!



寺田和子実行委員長

さんかくウィーク(岡山市男女共同参画推進週間)は、さんかく条例(岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例)が制定されたことによっではじまり、今年で5回目になりました。企画の段階から市民のみなさんと行政で構成する実行委員会が中心になって取り組んだ「さんかくウィーク2006」では、市民のみなさんに男女共同参画社会への理解を深めていただくため、性別にかかわらず、多様な生き方を認め合える“あたたかいまち”をテーマに、6月21日～27日までのさんかくウィークと、その前後一週間(プレウィーク・フォローウィーク)の計3週間にわたって、表町のさんかく岡山市や市内の全公民館などで多彩な行事を開催しました。

6/25 記念イベント / 市民文化ホール

記念セレモニーでは、市長・市議会副議長から男女共同参画社会へのメッセージが送られ、その後、平成18年度男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰、さんかくウィーク2006ポスターデザイン最優秀賞表彰と続き、タケカワユキヒデさんによるトーク&ライブが行われました。参加者からは「体験談がわかりやすく良かった」「トークもライブも楽しかった」「感動した」などの意見が数多く寄せられ、とても好評でした。



タケカワ ユキヒデさん



事業者表彰・ポスターデザイン最優秀賞表彰

事業者表彰では、NECシステムテクノロジー(株)岡山事業所、(株)L.I.B.の2社に表彰状と副賞が授与されました。(受賞事業者の紹介は裏表紙へ)
また、ポスターデザイン最優秀賞受賞者^{むくもとあけみ}椋本愛美さんに、賞状と副賞が授与されました。



ポスターデザイン最優秀賞の表彰

さんかくウィークの講演者の方々からのメッセージ



タケカワ ユキヒデさん

男女差別のもとになっているのは、自分が当たり前だと思っていることを相手に押し付けることではないかと思います。長い間ずっと男性社会が続いていたので、男性にとって当たり前なことが、そのまま社会通念になってしまっているということが、たくさんあるんだと思います。そういうのを一個一個全部考え直していかなければならない時期にきていると思うので、これは、もうみんなでやらなければいけないし、みんなでやれば、そんなに大変なことじゃないと思います。みんなで幸せになるために考えてみたいと思いますので、一緒にやりましょう!



藤村 梨沙さん

本当に男性も女性も平等な社会であれば、私たち、性同一性障害の人たちに対する差別って、ないだろうと思います。みんなが性別にかわりなく人を人として見ることができたら、私たちも差別されないのかなあとと思います。そういう社会を目指しましょう!



池田 香代子さん

私は「世界がもし100人の村だったら」という小さな絵本を作る過程で、世界にはいろんな人がいるということを知りました。中にはたいへん厳しい状況の人々もいます。女性も、男性も、子どもも、お年寄りも、みんなが輝ける、そんな明るい社会ができればいいなあとと思います。ここ岡山市では市民の皆さんが率先して盛り上げて、さんかくウィークをやっていたらと聞きました。これからも皆さんでどんどん盛り上げて、素敵な社会を作っていってください!

PR
活動

6/17 オープニングセレモニー・パレード / 表町さんかく岡山前広場



パレード隊が表町を行進して、さんかく岡山前でさんかくウィーク2006の開会を宣言しました。さんかく岡山前で行ったバザーや昔遊びのコーナーも賑わいました!

ウィーク
期間中

ポスターデザイン応募作品展 / 市役所市民ホール・さんかく岡山 ほか



今年初めての試みとして「おんな おとこ いろいろあって おもしろい」のテーマで、さんかくウィーク2006のポスターデザインを募集したところ、42点の力作が集まりました!

最優秀賞に輝いた作品はこちら。このデザインは、さんかくウィーク2006のポスター、チラシ等に活用されました!



今年初の動くPRとして、電車やバスの中へポスター・チラシを設置し、市役所1F待合とリットビジョンでCMを流しました。

さんかく岡山登録団体やさんかくウィーク2006実行委員会が企画した様々な行事

6/16



子どもとメディア

~ すりこまれていませんか? 暴力を ~

6/17



高齢社会を自立して生きるために

~ 一人暮らしになったときの住まい、お金、健康は? ~

6/17



藤村梨沙トーク&映画
「ロバート・イーズ」鑑賞

6/18



ひとりは一匹ぼっちではない、
孤独は疎外ではない
~ 孤独の力で楽になろう ~

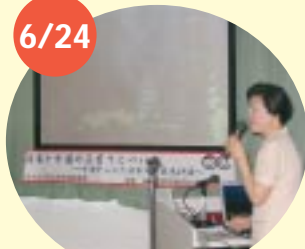
6/18



学生しゃべり場

~ 自分さがしワークショップ ~

6/24



日本と中国の子育てについて

~ 中国からみた日本の3歳児神話 ~

7/1



講演&ちゃちゃっとライブ!!

・「世界がもし100人の村だったら」から見えるもの
・ちゃちゃっとライブ!!



公民館
行事

子どもから高齢者まで多くの市民のみなさんに参加していただくために、市内34全ての公民館で人形劇やコント、おじいちゃんやおとうさんとのクッキング、DV(ドメスティック・バイオレンス)や男女共同参画に関する講演会、映画鑑賞など、それぞれ違ったテーマで地域に密着した行事を開催しました。



上南公民館



津高公民館



灘崎町公民館



高松公民館

岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰

岡山市では男女共同参画社会の形成の促進に関する条例「さんかく条例」の規定により、雇用の分野における男女共同参画社会の形成に関する取組の普及を図るために、次のような取組を行っている事業者を表彰しています。

職場における性的な言動に起因する問題等を防止し、積極的に男女の人権に配慮した働きやすい職場環境づくりを進めている。
仕事と育児、介護の両立を支援するため、法を上回る基準の制度や柔軟な働き方ができる制度を有するとともに、その制度が活用されている。
女性労働者の能力発揮を促進し、その活用を図る積極的取組を推進している。



平成18年度
受賞事業者

NECシステムテクノロジー(株) 岡山事業所

仕事と育児の両立を支援するため、法の基準を上回る様々な制度を有するなど、女性労働者の能力発揮を促進する積極的取組が高く評価された。特に、子どもが小学校3年を修了する年の3月末まで、所定労働時間に対して30分刻みで最大2時間の短縮ができる「育児短時間勤務制度」ができてからは退職者も減り「時間のやりくり、調整ができてとても助かる」と利用者にも好評。また、従業員同士が何でも気軽に話せる雰囲気、制度や利用に関する色々な情報交換もできている。今後はさらなる制度の活用を図るため、他の事業所で育児休職制度等を利用した男性の情報を流すなど、男性にも利用しやすい雰囲気や環境づくりを推進したいとのこと。



(株)L.I.B.

住まいでの主役は女性であると言われていて、インテリアの分野は女性にとって有利。この仕事は、住む人たちの気持ちを良く理解し、細やかな配慮をすることが必要で、流行に敏感で豊かな感性をもち、専門知識が豊富であることはもちろん、それに加えて家事や子育ての経験も非常に大切だと高月代表取締役。「経験がものを言う仕事なので、結婚や育児でやめてしまうのは惜しい、量を減らしても続けさせてあげたい。仕事と育児の両立を支援したい。」(株)L.I.B.では、女性の積極的な採用・育成、管理職への登用、育児

休業制度の実施だけでなく、育休復帰後の社員の仕事量や働き方を個々に見直し、皆で助け合いながら調整するなど、女性が能力を存分に発揮できるよう、働きやすい環境づくりに努めているとして高く評価された。

これまでの
受賞事業者の
みなさん

平成14年度	岡山電気軌道(株)	(株)千里コーポレーション
平成15年度	全日信販(株)	(株)中国シール印刷
平成16年度	(株)白十字	(有)パール工房森下
平成17年度	(株)岡山スポーツ会館	両備タクシーセンター

新編集委員の紹介

まだまだ「男女共同参画」って何?と思われる現在の、DUOを通して、男女を問わず、一人の人間としての個性を生かした社会や家庭を目指せるよう、市民の皆様と考えてもらえようになればと思います。(大矢野総子)



仕事をしていて頃より、専業主婦になってからの方が悩む事の多い「男女共同参画」。様々な立場の人と交流し、意見を聞くことができる機会が嬉しいです。二年間よろしくお願ひします。(久常容子)



長い間働いてきましたが、男女共同参画の意味を知ってはいても考えてみたことはありませんでした。若い世代の編集委員の方々と色々な課題に接していきながら、子、孫、社会の為に勉強したいと思います。(星出博子)



一男一女を子育て中の母親の目線で、家庭や地域社会のなかの男女の役割分担を見つめ、身近なところで実践できる男女共同参画社会実現へのヒントがDUOで提案できればいいなと思っています。(前田洋子)



男女共同参画社会は私たち一人一人の生き方の問題だと思います。小さな雪塊でも転がしていけば大きな雪だるまになります。「脚下照顧」をキーワードに編集に取り組みたい。DUOを「さんかく岡山」の先兵に!(山本 駿)



DUO vol.31

編集後記

新しく迎えた編集委員のみなさんと各家庭での様子を話し合う中にも、いろいろな気付きがあり、お互いいい刺激になりました。我が家でももう一度、日々の「あたりまえ」に目を向け、楽しく家事ができるような工夫をするぞ!と思い、まずは感謝の言葉をきちんと口にするよう、心がけています。